

TPP推進と

ものづくり強化

日本の経済再生をめざして

金属労協は、日本のものづくり金属産業の発展と雇用の維持・拡大のために、ものづくり産業の基盤となる国際貿易ルールづくりの場である、TPP（環太平洋パートナーシップ）交渉への参加推進を提言している。今号では、「TPP推進とものづくり強化～日本の経済再生をめざして～」と題して特集を組んだ。

特集では、まず特集1として、「TPPとは何か～その概要と意義」について専門家の立場から石川幸二亜細亜大学教授に解説いただいた。特集2では「日本の成長戦略とTPP交渉参加」と題して元経済産業大臣である直嶋正行JIC政治顧問にインタビューした。東日本大震災の復旧復興に向けた動きと合わせた新成長戦略の推進、TPP交渉参加の意義について考えを聞いた。特集3では「TPPへの早期参加表明は日本再生にとって不可欠」と題して、金属労協の考え方を中心に記している。

特集4としては「TPPと農業」について、農業問題専門家の立場から元農林水産事務次官の高木勇樹氏にインタビューした。日本の農業が抱える課題と農業改革への提言を伺うと共に、TPPについても、交渉の入口で立ち止まるのではなく、交渉に参加して、日本の農業の強み弱みをしっかり分析し対応することが必要と指摘。

人材以外に資源の乏しい日本は、これまで敗戦、オイルショック、阪神淡路大震災等幾多の危機に遭遇しても、その都度不死鳥の如く蘇生し、世界の経済大国として発展してきた。今回の未曾有の災害からの復興を契機としてとらえ、世界最高レベルの安全・安心・環境立国として再生していくため、覚悟を持って成長戦略の推進、ものづくり強化に希望を持って全力で挑戦していきたい。

（文責・編集Ⅱ金属労協組織総務局）



Illustration: しおたまこ